



端末設定とセッションの設定

この章は、次の内容で構成されています。

- 端末設定とセッションの概要, [on page 1](#)
- ファイル システム パラメータのデフォルト設定, [on page 2](#)
- コンソール ポートの設定, [on page 2](#)
- 仮想端末の設定, [on page 4](#)
- ターミナル セッションのクリア, [on page 6](#)
- 端末およびセッション情報の表示, [on page 7](#)

端末設定とセッションの概要

ここでは、端末設定とセッションの概要について説明します。

ターミナル セッションの設定

Cisco NX-OS ソフトウェア機能では、端末の次の特性を管理できます。

端末タイプ

リモート ホストと通信する際に Telnet で使用される名前

Length

一時停止する前に表示されるコマンド出力の行数

幅

行を折り返す前に表示される文字数

非アクティブセッションのタイムアウト

デバイスによって停止される前にセッションが非アクティブの状態でいられる分数

コンソール ポート

コンソールポートは非同期のシリアルポートで、初期設定用に、RJ-45 コネクタを使用して標準 RS-232 ポート経由でデバイスに接続できます。このポートに接続されるデバイスには、非同期伝送の機能が必要です。コンソール ポートには、次のパラメータを設定できます。

データ ビット

データに使用するビット数を 8 ビットのバイト単位で指定します。

非アクティブ セッションのタイムアウト

セッションが終了になるまでの非アクティブ時間を分単位で指定します。

パリティ

エラー検出用の奇数パリティまたは偶数パリティを指定します。

スピード

接続の送信速度を指定します。

ストップ ビット

非同期回線に対するストップ ビットを指定します。

ターミナルエミュレータは、9600 ボー、8 データ ビット、1 ストップ ビット、パリティなしに設定してください。

仮想端末

仮想端末回線を使用してデバイスに接続できます。セキュアシェル (SSH) および Telnet は、仮想ターミナルセッションを作成します。仮想端末の非アクティブセッション タイムアウトおよびセッション数の上限を設定できます。

ファイル システム パラメータのデフォルト設定

次の表に、ファイル システム パラメータのデフォルト設定を示します。

Table 1: デフォルトのファイル システム設定

パラメータ	デフォルト
デフォルト ファイルシステム	bootflash:

コンソール ポートの設定

コンソール ポートに対して次の特性を設定できます。

- データ ビット
- 非アクティブセッションのタイムアウト
- パリティ
- スピード
- ストップ ビット

Before you begin

コンソール ポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **databits** *bits*
4. **exec-timeout** *minutes*
5. **parity** {**even** | **none** | **odd**}
6. **speed** {**300** | **1200** | **2400** | **4800** | **9600** | **38400** | **57600** | **115200**}
7. **stopbits** {**1** | **2**}
8. **exit**
9. (Optional) **show line console**
10. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	line console Example: <pre>switch# line console switch(config-console)#</pre>	コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	databits <i>bits</i> Example: <pre>switch(config-console)# databits 7</pre>	1 バイトあたりのデータ ビット数を設定します。指定できる範囲は 5 ～ 8 です。デフォルトは 8 です。
ステップ 4	exec-timeout <i>minutes</i> Example: <pre>switch(config-console)# exec-timeout 30</pre>	非アクティブ セッションのタイムアウトを設定します。有効値は 0 ～ 525600 分 (8760 時間) です。0 分の値を設定すると、セッションタイムアウトはディセーブルになります。デフォルトは 30 分です。
ステップ 5	parity { even none odd } Example: <pre>switch(config-console)# parity even</pre>	パリティを設定します。デフォルトは none です。

	Command or Action	Purpose
ステップ 6	speed {300 1200 2400 4800 9600 38400 57600 115200} Example: <pre>switch(config-console)# speed 115200</pre>	送信および受信速度を設定します。デフォルトは、9600 です。
ステップ 7	stopbits {1 2} Example: <pre>switch(config-console)# stopbits 2</pre>	ストップ ビットを設定します。デフォルトは 1 です。
ステップ 8	exit Example: <pre>switch(config-console)# exit switch(config)#</pre>	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 9	(Optional) show line console Example: <pre>switch(config)# show line console</pre>	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 10	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

仮想端末の設定

ここでは、Cisco NX-OS デバイスで仮想端末を設定する方法について説明します。

非アクティブ セッション タイムアウトの設定

デバイス上の非アクティブな仮想端末セッションのタイムアウトを設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line vty**
3. **exec-timeout minutes**
4. **exit**
5. **(Optional) show running-config all | begin vty**
6. **(Optional) copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	line vty Example: <pre>switch# line vty switch(config-line)#</pre>	ライン コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	exec-timeout minutes Example: <pre>switch(config-line)# exec-timeout 30</pre>	VDCを設定します。有効値は 0 ～ 525600 分（8760 時間）です。0 分の値を設定すると、タイムアウトはディセーブルになります。デフォルト値は 30 です。
ステップ 4	exit Example: <pre>switch(config-line)# exit switch(config)#</pre>	ライン コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(Optional) show running-config all begin vty Example: <pre>switch(config)# show running-config all begin vty</pre>	仮想端末の設定を表示します。
ステップ 6	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

セッション制限の設定

デバイス上の仮想端末セッションの数を制限できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line vty**
3. **session-limit sessions**
4. **exit**
5. (Optional) **show running-config all | begin vty**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: switch# configure terminal switch(config)#	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	line vty Example: switch# line vty switch(config-line)#	ライン コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	session-limit sessions Example: switch(config-line)# session-limit 10	デバイスの仮想セッションの最大数を設定します。 範囲は 1 ～ 64 です。デフォルトは 32 です。
ステップ 4	exit Example: switch(config-line)# exit switch(config)#	ライン コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(Optional) show running-config all begin vty Example: switch(config)# show running-config all begin vty	仮想端末の設定を表示します。
ステップ 6	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

ターミナル セッションのクリア

デバイス上の端末セッションをクリアすることができます。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show users**
2. **clear line name**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) show users Example: switch# show users	デバイスのユーザ セッションを表示します。
ステップ 2	clear line name Example: switch# clear line pts/0	特定の回線のターミナルセッションをクリアします。回線名では大文字と小文字が区別されます。

端末およびセッション情報の表示

端末およびセッション情報を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
show terminal	端末設定を表示します。
show line	COM1 およびコンソール ポートの設定を表示します。
show users	仮想ターミナルセッションを表示します。
show running-config [all]	実行コンフィギュレーションのユーザ アカウント設定を表示します。 all キーワードを指定すると、ユーザ アカウントのデフォルト値が表示されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。